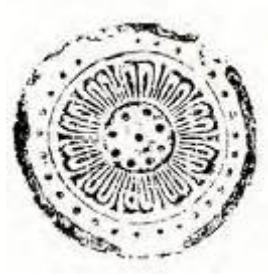


大分市歴史資料館年報

(平成 28 年度)



2017

はじめに

平成 28 年度の大分市歴史資料館年報をお届けします。

本年度の展示事業では、「ハレの日の酒」・「いにしえの美―館蔵古美術」・「THE 府内古図―中世豊後府内のまち」の 3 回のテーマ展示と、特別展「ほとけの王国―大分の仏像」を開催しました。

また、大河ドラマ「真田丸」の放映にあわせ、大坂夏の陣において真田幸村（信繁）を討ち取り、大坂城への一番のりを果たすなどの目覚ましい功績を上げながらも、大分への蟄居を幕府から命ぜられて当地で亡くなった越前福井藩 2 代藩主、松平忠直（一伯）の足跡等を紹介する特集展示も開催いたしました。

「ほとけの王国―大分の仏像」の特別展では、大分市大山寺の木造普賢延命菩薩坐像をはじめとする 6 体の重要文化財の仏像や、九州初公開となる奈良県杵築神社の像高約 2m の深沙大将立像などの全 31 点の仏像・仏画を、「菩薩」・「如来」・「明王」・「天」のコーナーにわけてわかりやすく紹介しました。

また、ホルトホール大分大会議室を会場に開催した、彫刻家で東京藝術大学大学院教授の簀内佐斗司氏の記念講演「仏教紙芝居―ほとけの世界とその意味」では、246 名の聴講者が訪れられ、大好評でした。

教育普及事業では、昨年と同様に、「ふるさとの歴史再発見」講座を考古・歴史・民俗文化史・古文書の 4 コース全 19 回実施し、勾玉作り・粘土はにわ作り・土笛作り・紙かご編みなどを内容とする「ふれあい歴史体験講座」を全 18 回開催しました。

5 月 5 日の子どもの日の「昔のおもちゃで遊ぼう」では、昨年を約 200 名上回る 484 名の参加があり、また「夏休みジュニア歴史探検」では、新しく鏡作りの工作体験を行い、これについても昨年を上回る 49 名の参加がありました。

総じて、本年度の資料館の総利用者は 45,947 名を数え、微増ではありますが、昨年度の総数を 88 名上回ることができました。

今後も、さらに多くの方々に資料館を利用いただき、市民学芸員の方々のご協力も得ながら、歴史教育の普及に努めて参りたいと考えております。

末尾にはなりますが、常々当館の活動にご協力いただいております関係者ならび各機関にお礼申し上げますとともに、さらなるご支援等を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 29 年 7 月 25 日

大分市歴史資料館
館長 武富雅宣

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他の展示 まちかど歴史展示館	
資料調査	13
資料収集	20
教育普及活動	25
歴史資料館利用状況	31
管理及び運営	32
歴史資料館協議会 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出 施設管理業務の内容	
施設の概要	33
利用案内	34

展 示

(1) テーマ展示

第1回 「ハレの日の酒」

会期 4月30日(土)～6月26日(日)

開館日数：50日 入館者数：2,349人

成人の祝い、結婚、葬式、盆、正月、祭り、講、花見、遊山など日常生活と異なる特別な日を「ハレ」の日と言う。この日には人が集まり、日頃は口にしない餅や赤飯、無塩の魚などのご馳走を食べ、酒を酌み交わした。

本展では、多様な酒造道具や、酒宴を彩った酒器、また版本や絵画資料などを交えながら、ハレの日のお酒について紹介した。

主な展示構成・展示品

〔多彩な酒造道具〕 『日本山海名産図会』／『酒造り教本』／帆足本家酒造道具(市指定)など

〔酒宴を彩る酒器〕 『貞丈雑記』／京都産土師器(金閣寺出土品・京都市考古資料館蔵)／徳利、猪口、盃洗セット等(大分大学コレクション)／チロリなど

〔ハレの日の酒〕 角樽／婚礼用の盃(大分社蔵)／銚子・お櫃・しゃもじ(個人蔵)／重箱／提重箱／入子／仏事用の椀／庚申講の掛軸



テーマ展示室入口



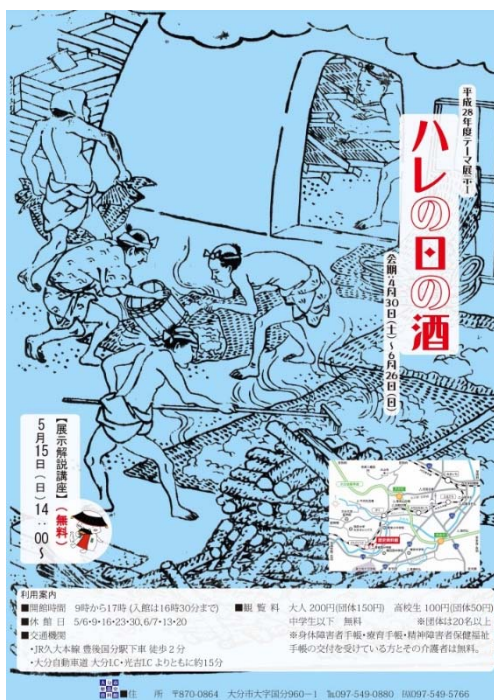
展示風景「多彩な酒造道具」



展示風景「多彩な酒造道具」



展示風景「ハレの日の酒」



第2回 「いにしえの美—館蔵古美術—」

会期 7月23日(土)～9月25日(日)

開館日数：53日 入館者数：3,219人

当館は、開館以来収集してきたさまざまな資料について企画展などを通して、郷土の歴史とともに紹介してきた。こうした資料の中には、美術的にすぐれた古美術品と呼ばれるものが多く存在する。

本展では、それら古美術品と呼ばれる陶磁器や絵画、工芸品などについて、その資料のもつ美的造形や価値、歴史的背景などについて紹介した。

主な展示構成・展示品

【陶磁器】 芋の子茶入(瀬戸)／交趾香合／青磁稜花盤／阿蘭陀色絵細水指／華南三彩刻花文水注など

【書画】 十二月言葉手鑑／府内藩主松平不けん(近傳)短冊／府内藩主松平不けん書／児島高德騎馬図／阿部淡斎書など

【絵画】 源氏物語図 空蟬(巻3)・若紫(巻5)・少女(巻21)・竹河(巻44)・蜻蛉(巻52)／錦絵「豊後鶴崎戦争」／錦絵「日向国三国峠進撃之図」

【漆器】 桜楓山水図蒔絵印籠／釘抜紋入り長文箱／家紋入柄杓／家紋入矢筒／蛇の目紋付き食籠／花鳥文蒔絵螺鈿洋櫃／剣片喰紋楼閣花樹螺鈿蒔絵洋櫃／花樹鳥文蒔絵螺鈿洋筆筒など

【刀剣】 刀「神狐丸盛利」／短刀・同拵え／鎗「豊府住盛尚」／クルス入和船図鐔／南蛮鰐(南蛮船図)／木瓜形龍唐草文図鐔／十字文透図鐔／南蛮兜など



テーマ展示室入口



展示風景「陶磁器」「書画」



展示風景「絵画」



展示風景「漆器」「刀剣」



第3回「THE 府内古図—中世豊後府内のまち—」

会期 1月28日(土)～4月3日(日)

開館日数：57日 入館者数：4,451人

戦国時代の豊後府内のまちの様子を現在に伝えたものに「府内古図」と呼ばれる絵図がある。府内古図は現在、発掘調査が行なわれている国指定史跡大友氏遺跡や中世大友府内町跡の調査において、絵図にみえる道路跡や木戸跡が確認されるなど、その正確さや意義が注目され、1つの大きな指針ともなっている資料である。

本展では、印刷図や写真図版なども含め、現在所在が確認できる府内古図を一堂に展示し、各絵図に描かれている内容から豊後府内のまちの姿を紹介した。

主な展示構成・展示品

[A類] 古国府本実物大パネル(A1類)／中村本(A1類2)／垣本作図本(A2類2)／伊藤作図本(A2類3)

[B類] 立川甲本(B1類)／日名子写真本a(B2類1)／日名子写真本b(B2類1)／高山甲本(B2類2)

[C類] 立川乙本(C1類1)／高山乙本(C1類2)／那賀写真本(C2類1)／那賀作図本(C2類2)／資料館本e(C2類3)



展示風景「A類」



展示風景「B類」



展示風景「C類」



展示風景「比較図パネル」

(2) 特別展

第35回特別展 ほとけの王国－大分の仏像－

大分市歴史資料館の開館以来初となる仏像を特集した展示で、如来・菩薩・明王・天等、仏教伝来から現在に至る長い年月の中で、人々の祈りや願いを反映したさまざまな仏さまの姿を、郷土大分に伝わる仏像を中心に紹介した。

地元大分市を代表する重要文化財・大山寺の木造普賢延命菩薩坐像、同じく杵原八幡宮の銅造如来立像、県指定有形文化財・金剛宝戒寺不動明王坐像をはじめとして、当館初公開となる重要文化財・宇佐市大楽寺、日田市永興寺の四天王立像を展示し、この他にも九州初公開となる奈良県平群町杵築神社の深沙大将立像等、貴重な仏像が一堂に会した特別展となった。

会期中の11月6日(日)には、ホルトホール大分大会議室で東京藝術大学大学院教授の簀内佐斗司氏を招いての記念講演会を開催した。基調講演として「仏像紙芝居－ほとけの世界とその意味－」の演題でお話をいただき、講演会後半には、大分大学教授の田中修二氏との対談「ほとけさまに出会う旅に出よう」を行った。

また、会期中の10月2日から8日には、奈良県の公式マスコットキャラクター「せんとかん」が、産みの親である簀内氏の講演会と特別展のPRのために来館した。

会期：10月21日(金)～11月27日(日)

会場：第2展示室・テーマ展示室

開館日数：32日 入館者数：6,278人

出品点数：32点

記念講演会

日時：11月6日(日) 午前10時～12時

会場：ホルトホール大会議室

聴講者数：246人



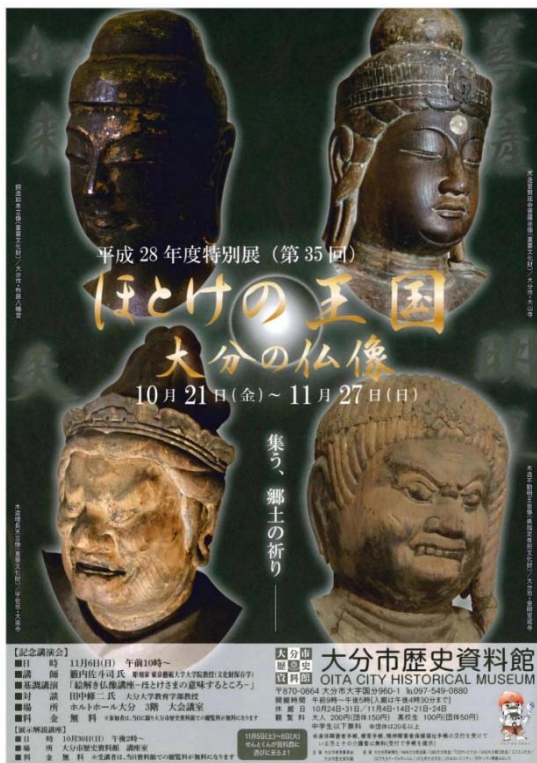
開催式典の様子



式典後の展示解説の様子



記念講演会の様子



展示構成及び展示品リスト

番号	資料名	時代	数量	所蔵者	法量(cm)
第一章 菩薩－悟りを求める－					
1	○木造菩薩立像	奈良～平安時代前期	1	宇佐市・黒区(天福寺奥院)	像高153.5
2	◎木造普賢延命菩薩坐像	平安時代前期	1	大分市・大山寺	像高87.7 総高220.0
3	○木造地藏菩薩立像	平安時代	1	国東市・胎蔵寺	像高78.7
4	□木造十一面観音立像	平安時代後期	1	大分市・国分寺	像高106.2
5	観音菩薩像(絹本着色)	室町時代後期	1	大分県立歴史博物館	107.0×64.3
6-1	聖観音像	江戸～明治時代	1	宇佐市・向蔵坊	像高29.1
6-2	千手観音像		1		像高29.9
6-3	馬頭観音像		1		像高29.4
6-4	十一面観音像		1		像高29.2
6-5	不空罽索観音像		1		像高30.1
6-6	如意輪観音像		1		像高24.8
第二章 如来－悟りへの到達－					
7	◎銅造如来立像	飛鳥時代(7世紀)	1	大分市・柞原八幡宮	像高30.6 総高36.3
8	○銅造如来立像	白鳳時代(7世紀後半)	1	大分市・金剛宝戒寺	像高15.2
9	○木造薬師如来坐像	平安時代後期	1	国東市・岩戸寺	像高96.1
10	木造阿弥陀如来坐像	鎌倉時代	1	豊後大野市・藤北自治会藤北支部	像高68.5
11	○木造釈迦如来坐像	南北朝時代(文和三年)	1	国東市・萬弘寺	像高80.8
12	木造五劫思惟阿弥陀坐像	室町時代	1	大分市・片島下区	像高50.4
13	木造大日如来坐像	江戸時代	1	大分市歴史資料館	像高74.9
深沙大将－三蔵法師の守護神－					
14	◇高瀬石仏深沙大将立像	平安時代後期	1	大分市	像高140
15	◇◎木造深沙大将立像	平安時代	1	岐阜県揖斐斐川町・横蔵寺	像高175.5
16	◇木造深沙大将倚像	平安時代	1	香川県三野町・弥谷寺	像高138.5
17	◇◎木造深沙大将立像	平安時代後期	1	福井県小浜市・明通寺	像高256.6
18	◇□木造深沙大将立像	平安時代	1	三重県鈴鹿市・神宮寺	像高104.5
19	◇◎木造深沙大将立像	鎌倉時代	1	京都府舞鶴市・金剛院	像高84
20	○木造深沙大将立像	南北朝～室町時代前期	1	奈良県平群町・杵築神社	像高197
21	釈迦三尊十六善神像	室町時代	1	大分県立歴史博物館	96.8×42.5
第三章 明王－怒りと慈悲－					
22	○木造不動明王坐像	平安時代	1	大分市・金剛宝戒寺	像高86.3
23	大分元町石仏不動明王立像頭部	平安時代	1	大分市教育委員会	
24	○木造大威徳明王像	鎌倉時代(弘安七年)	1	豊後大野市・吉祥寺	像高91.0
25	○板彫不動明王立像	鎌倉時代	1	大分市・柞原八幡宮	像高76.9
26	木造不動明王立像	鎌倉時代末期	1	大分県立歴史博物館	像高86.5
模刻制作－もの・わざ・ところを伝える－					
27	東大寺中性院弥勒菩薩立像想定復元模刻	現代	1	個人	像高102.7
28	東大寺中性院弥勒菩薩立像縮尺構造模型	現代	1	個人	像高82
大分市の磨崖仏－懸崖のほとけ－					
29	◇大分元町石仏	平安時代	－	大分市	－
30	◇高瀬石仏	平安時代	－	大分市	－
31	◇岩屋寺石仏	平安時代	－	大分市・円寿寺	－
32	◇曲石仏	平安～室町時代	－	曲地区共有	－
33	◇伽藍石仏(南太平寺磨崖仏)	鎌倉～室町時代	－	個人	－
34	◇敷戸磨崖仏	鎌倉時代	－		－
第四章 天－仏教の守護神－					
35-1	◎木造四天王立像(増長天)	平安時代	1	宇佐市・大楽寺	像高134.8
35-2	◎木造四天王立像(広目天)	平安時代	1	宇佐市・大楽寺	像高133.6
36-2	◎木造四天王立像(持国天)	鎌倉時代(元亨元年)	1	日田市・永興寺	像高93.5
36-2	◎木造四天王立像(多聞天)	鎌倉時代(元亨元年)	1	日田市・永興寺	像高97.0
37	銅造双身歓喜天立像	江戸時代	1	大分市歴史資料館	総高17.7

◎重要文化財 ○県指定文化財 □市町村指定文化財 *複製品 ◇パネル展示



『特別展展示図録』



展示会場入口



第一章 菩薩



第一章 菩薩



第二章 如来



第二章 如来



第二章 如来



第二章 如来



コラム 仏さまの組み合わせ



コラム 仏さまのポーズ



特集展示① 深沙大将



特集展示① 深沙大将



第三章 明王



第三章 明王



特集展示② 模刻制作



第四章 天



トピック 大分市の磨崖仏



トピック 簀内ワールド



せんとくん、大分市教育委員会教育長を表敬訪問



せんとくん、JR 大分駅 駅長を表敬訪問



せんとくん、JR おおいたシティ ぶんぶん号に初乗車



簀内氏とせんとくん、感動の再会



せんとくん、資料館で子どもたちと交流



せんとくん、特別展をご観覧

(3) その他の展示

特集展示「一伯公 松平忠直」

平成28年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が放送され、戦国武将ブームが再燃した年となった。この真田丸の主人公・真田幸村（信繁）を討ち取った武将として注目されることとなったのが、「一伯公」と松平忠直である。

松平忠直は、徳川家康の孫として生まれ、越前福井68万石の2代藩主として、大坂の夏の陣では幸村を討ち取り、大坂城に一番乗りを果たすなど、大変な活躍をみせた人物である。このような輝かしい経歴をもちながら、幕府との軋轢から29歳の若さで藩主の地位を追われ大分（大分市萩原）へ移される。その後、大分市津守に移り、周辺の寺社を再建するなど、地域の人たちに親しまれると同時に、自らの生活や家族の安泰を第一に考えた余生をおくったといわれる。

本展では、熊野神社に奉納された一伯公の遺品や中根コレクションなどから生前の一伯公の英姿や足跡を紹介した。

第1回「真田栗毛」

真田幸村の愛馬「真田栗毛」をキーワードに、忠直ゆかりの「馬」に関わる資料を展示した。

会期 平成28年6月1日(水)～8月7日(日)

展示品 松平忠直画像[複製品](現品:浄土寺)
／桐紋透彫轡・葵紋入梨地卍文蒔絵鐙(熊野神社)

第2回「質直淳厚」

『西厳公年譜』に「公人トナリ質直淳厚、幼ヨリ英邁勇悍膂力人ニ過ク・・・」と書かれ、忠直を誉め称えている。この中に出てくる「質直淳厚」(性質が素直で誠実な人情深い人)をキーワードに、忠直ゆかりの資料を展示した。

会期 平成28年8月10日(水)～10月16日(日)

展示品 葵紋入鏡・能面小面・癒見(熊野神社)

第3回「英邁勇悍」

『西厳公年譜』の中に出てくる「英邁勇悍」(才能が非常にすぐれて勇敢な人)をキーワードに、忠直ゆかりの資料を展示した。

会期 平成28年12月3日(金)～平成29年2月26日(日)

展示品 熊野権現縁起絵巻[大分市指定有形文化財]・熊野権現縁起絵巻見返紙・兜蓑・元和年中萩原村絵図・松平忠直記念状(熊野神社)／本田忠勝書「政」・大坂御陣図[大坂冬の陣図]・大坂陣図[大坂夏の陣図](個人)／日根野時代府内藩領図(当館)



第1回「真田栗毛」



第2回「質直淳厚」



第3回「英邁勇悍」

特別公開「熊野権現縁起絵巻」

特集展示「一伯公 松平忠直」の第3回の開催にて展示した熊野権現縁起絵巻について、全13巻あることから、12月から4月の各月に2巻ずつ特別公開した。



展示風景

トピック展示

第1展示室の常設展示において、下半期10月から旧石器・縄文・弥生・古墳・古代の各コーナーで、過去のテーマ展示パネル等を利用した小学生向けのトピック展示を行った。



「ステゴドンゾウの上顎化石とシカの下顎の比較」



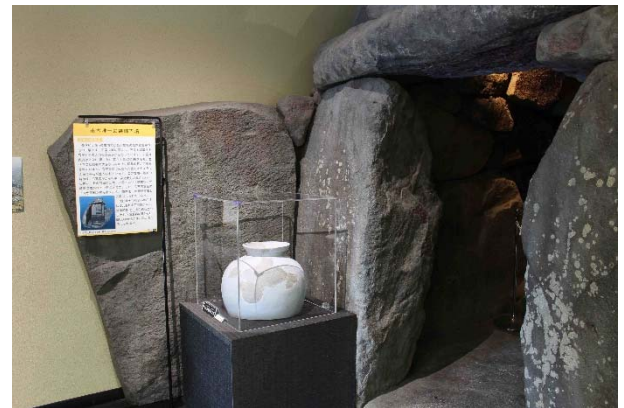
「4000年前の縄文土器をさわって考えてみよう！」



「縄文時代と弥生時代の石鏃を比べてみよう！」



「弥生土器パズルのモデルとなった土器」



「千代丸古墳から出土した須恵器」



「豊後国分寺跡から出土した様々な軒瓦」

今月の一品展示

第1展示室の一角において、11月から館が所蔵する陶磁器の中から一品を選び、各月ごとに展示した。

展示品

11月：青磁鎬蓮弁文碗／12月：青磁雷文碗／1・2月：華南三彩鳥形水滴／3月：交趾鳥形香合



今月の一品展示風景

新収蔵資料展示「大道遺跡群出土の木製臼」

本資料は平成22年から奈良国立文化財研究所において保存処理（凍結乾燥）が行われた資料である。平成28年8月に無事保存処理を終え、ほぼ原型を保った状態で帰ってきた。平成22年に制作された複製品に加えて、原品の展示も行った。



複製品(左)と保存処理された原品(右)



木製臼の展示風景(古墳コーナー)

常設展示替え

【第一展示室】

大道遺跡群出土の木製臼の展示にともない古墳コーナーの一部展示替えを行った。

【第二展示室】

中世コーナーにおいて、西洋楽器の復元品や西洋地図などの一部展示替えを行った。



異国人がみた日本



教会と音楽

屋外展示

「浜遺跡出土の3号箱式石棺」

平成13年の常設展示のリニューアルにともない収蔵庫に撤収していた浜遺跡出土の3号箱式石棺について、石棺の構造等の理解のため、屋外展示を行った。



石棺設置状況

大分市民図書館「郷土史コーナー」

「ホルトホール大分」内に置かれた大分市民図書館の郷土史コーナーにおいて、本年度も資料館の企画展情報として、平成 28 年度に実施した特別展、テーマ展示、特集展示の計 4 回のパネル展示を行い、企画展の広報を行うとともに、広く市民の方に郷土大分の歴史にふれる場を提供した。



テーマ展示Ⅰ「ハレの日の酒」



特別展「ほとけの王国」

その他

市民の方から寄贈していただいた五月人形や雛人形など、季節に応じてロビーにて展示した。



雛人形の展示風景

(4) まちかど歴史展示館

多くの市民に郷土大分の歴史や文化を紹介するために、市民学芸員や地域住民と協働して、資料館を出てパネルや資料などの展示を行う「まちかど歴史展示館」を実施した。

本年度は、市内の中学校を中心に、いいちこグランシアターや大分銀行ドームなど 12 会場で順次展示を行い、中学校では展示の解説などもあわせて行った。期間中、8,316 人の利用があった。



いいちこグランシアター



大分銀行ドーム



賀来小中学校

資 料 調 査

平成 28・29 年度特別展関係資料調査

平成 28 年度に開催の「ほとけの王国—大分の仏像—」、平成 29 年度に開催予定の「威信の舞台—よみがえる大友館—」の各資料調査を以下のとおり実施した。

1. 極楽寺・向蔵寺・大楽寺・大分県立歴史博物館
調査日 平成 28 年 4 月 12 日（火）
調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、極楽寺・木造阿弥陀如来立像、向蔵坊・六観音像、大楽寺・木造四天王立像、大分県立歴史博物館・塑像菩薩立像、木造菩薩立像、木造千手観音菩薩立像、木造如来立像・木造不動明王立像などの資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

極楽寺所蔵の木造阿弥陀如来立像は、像高 131.5cm、玉眼、寄木造、鎌倉時代 13 世紀後半の作とされる。仏像は現状で、中央の厨子に納められた状態である。大分県立歴史博物館の展示の際には見られなかった放射光の光背が付属する。展示の内諾を得ることができたが、光背を含めた安全な運搬と、それに伴う予算的な問題から展示を断念した。

向蔵坊は、大楽寺が住職を兼ねており管理も行う。六観音は、本尊奥の厨子に 1 体ごと納められており、右より十一面・如意輪・不空羂索・聖・馬頭・千手観音の順となる。像高は 29.1～31.1 cmを測り、渡来系の顔立ちが特徴的なこれらの仏像は、江戸時代長崎黄檗宗系統の、長崎仏師との関わりが指摘されている。全体に保存状況は良好で、大分県立歴史博物館の展示の際と大差無い。千手観音の首が離れており櫛状のもので補修されている。

大楽寺所蔵の木造四天王像については、寄木造、12 世紀前半の作、重要文化財に指定される。4 体中全ての貸出しは無理とのことで、調査の結果、増長天・広目天を借用することで内諾を得た。増長天は、像高 134.8 cmを測る。持物の宝剣は取り外し可能だが、そのままの状態で梱包することが望ましと判断した。広目天は、像高 133.6cm を測り、持物は、巻物と筆で取り外し可能である。

大分県立歴史博物館に展示している天福寺奥院の塑像菩薩立像、木造菩薩立像、木造如来立像については、塑像及び一部塑土を使った像があることから、運搬時の衝撃や展示環境の変化など仏像に与える影響を考慮し展示を断念し、木造菩薩立像のみを展示

することとした。像高 153.5cm、一木造、奈良時代後期～平安時代初めの作である。

同じく木造千手観音菩薩立像については、持物等を含めた複雑な構造から運搬時の衝撃などを考慮し展示を断念した。複製品、現品は日出町蓮華寺所蔵大分県指定有形文化財である。

同じく木造不動明王立像は、国東半島伝来とされる。像高 86.5 cm、割矧造、玉眼の 14 世紀の作。宝剣は取り外し可能である。



2. 禅林寺・萬弘寺

調査日 平成 28 年 4 月 20 日（水）

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、禅林寺・旧虚空蔵寺千手観音菩薩立像、萬弘寺・木造釈迦如来坐像などの資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

禅林寺は、東光寺が住職を兼ねており管理も行う。旧虚空蔵寺千手観音菩薩立像は、ガラス戸のケースに保管されているが、輪光・冠とも状態が悪く、特に足元の腐食が著しく、展示を断念する。

萬弘寺所蔵の木造釈迦如来坐像は、像高 80.8cm、

寄木造、玉眼、胎内銘により文和3年(1354)富来一族を願主とし、大仏師覚朝が造ったことがわかる。いわゆる宝冠釈迦の像としても珍しい存在で、大分県有形文化財に指定されている。



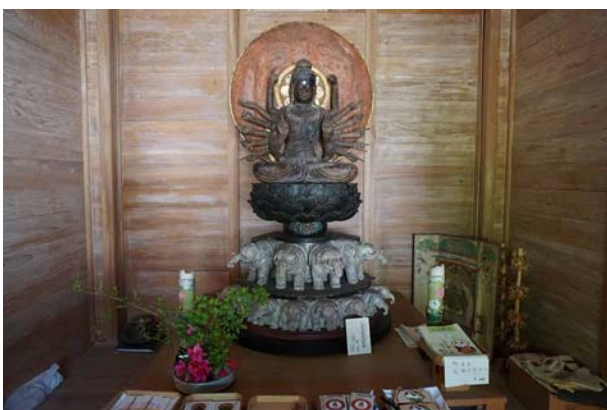
3. 大山寺

調査日 平成28年4月26日(火)

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成28年度特別展の実施にあたり、大山寺・木造普賢延命菩薩坐像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

大山寺所蔵の木造普賢延命菩薩坐像は、像高87.7cm、台座を含めた総高は220.7cmを測る。平安時代、10世紀の作とされ、最古の普賢延命菩薩像とされる。重要文化財に指定されている。象の台座と蓮華座、光背、本体に分け梱包・運搬を行うよう検討する。駐車場と普賢堂間は、小型の別車両による運搬が必要である。



4. 柞原八幡宮

調査日 平成28年4月28日(木)

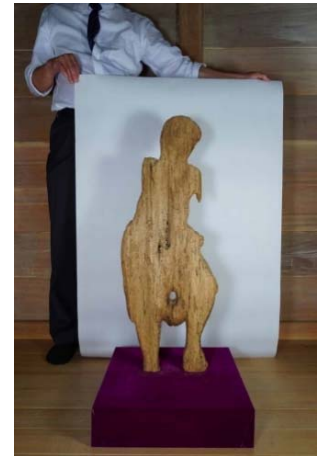
調査員 河野史郎・松岡健太

■平成28年度特別展の実施にあたり、柞原八幡宮・銅像仏像・板彫不動明王立像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

柞原八幡宮所蔵の銅像仏像は、像高30.6cm、銅

像、鍍金、7世紀後半の作とされる。重要文化財に指定されている。

同じく板彫不動明王立像は、像高76.9cm、板材に浅く顔や衣の表現が施される。大分県有形文化財に指定されている。台座に差し込む形で展示しており、新しく展示台の作成が必要。(実際の展示では、安全・安定性を考慮し現状台座を使用した)



5. 胎蔵寺・金剛宝戒寺

調査日 平成28年5月6日(金)

調査員 河野史郎

■平成28年度特別展の実施にあたり、胎蔵寺・木造地藏菩薩立像、金剛宝戒寺・銅像如来立像、木造不動明王坐像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

胎蔵寺所蔵の木造地藏菩薩立像は、像高78.7cm、一木造、平安時代後期11世紀の作とされる。衣紋の表現に地方仏の特色が見える。大分県有形文化財に指定されている。

金剛宝戒寺所蔵の銅像如来立像は、像高15.2cm、銅像、鍍金、7世紀後半の作とされる。大分県有形文化財に指定されている。

同じく木造不動明王坐像は、像高86.3cm、寄木造、平安時代、12世紀初めの作とされる。大分県有形文化財に指定されている。





6. 片島下区

調査日 平成 28 年 5 月 12 日（木）

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、片島下区・木造五劫思惟阿弥陀坐像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

片島下区が所蔵する木造五劫思惟阿弥陀坐像は、像高 50.4cm、寄木造、室町時代 15 世紀の作とされる。近世以前に遡る五劫思惟阿弥陀坐像は非常に珍しい。



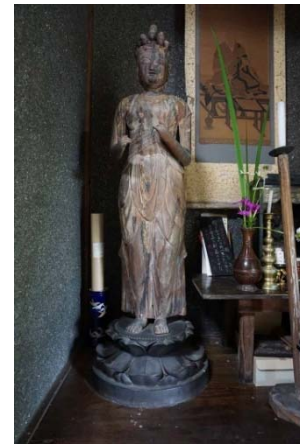
7. 国分寺

調査日 平成 28 年 5 月 20 日（金）

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、国分寺・木造十一面観音立像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

国分寺が所蔵する木造十一面観音立像は、像高 106.2cm、一木造、平安時代後期 12 世紀の作とされる。大分市の有形文化財に指定されている。国分寺における観音信仰を考える上でも貴重である。



8. 永興寺

調査日 平成 28 年 5 月 25 日（水）

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、永興寺・木造四天王率像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

大楽寺所蔵の木造四天王像が、増長天・広目天の 2 体のみの借用となったことを受けて、永興寺では増長天・多聞天の調査をおこなった。奈良興福寺木芯乾漆造四天王像の模刻、同寺の広目天が永興寺では増長天として伝わる。胎内銘には元亨元年～2 年(1321-1322)の、慶派仏師康俊・康成・俊慶の作とある。



9. 常忠寺

調査日 平成 28 年 5 月 27 日（金）

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、常忠寺・木造阿弥陀如来坐像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

常忠寺は、廃寺であり寺及び仏像は、藤北自治会藤北支部によって管理されている。像高 68.5 cm、寄木造、玉眼、鎌倉時代 13 世紀の作とされる。説法印を組む珍しい像となる。折れている輪光、台座は、借用しないこととした。



10. 吉祥寺

調査日 平成 28 年 5 月 31 日（火）

調査員 河野史郎

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、吉祥寺・木造大威徳明王像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

吉祥寺所蔵の木造大威徳明王像は、像高 91.0cm 寄木像、胎内銘には、弘安 7 年（1284）大仏師覚昭の作とある。表面の彩色部が薄く剥離する部分があり、運搬に注意を要する。



11. 中津市歴史民俗資料館

調査日 平成 28 年 6 月 2 日（木）

調査員 河野史郎・松岡健太

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、中津市歴史民俗資料館・木造愛染明王坐像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

中津市歴史民俗資料館所蔵の木造愛染明王坐像は、像高 52.1 cm、寄木造、玉眼、江戸時代の作とされる。愛染明王の基本形ともいえる姿を呈し、胡粉を全体に塗った後に朱を塗ったことが指摘されている。展示の内諾を得たが、展示に至らず。



12. 岩戸寺

調査日 平成 28 年 6 月 19 日（日）

調査員 河野史郎

■平成 28 年度特別展の実施にあたり、岩戸寺・木造薬師如来坐像の資料調査を行い、図録等広報用の写真撮影もあわせて行った。

岩戸寺所蔵の木造薬師如来坐像は、像高 96.1cm、一木造、平安時代 11～12 世紀の作とされる。左手の薬壺を持つ。



12. 興山寺

調査日 平成 28 年 5 月 22 日（日）

調査員 武富雅宣・河野史郎

■興山寺が住職を兼ねる長谷寺の銅像観音菩薩立像について、出展交渉を行う。

長谷寺の銅像観音菩薩立像は、秘仏として年 1 回の公開としていることから、基本展覧会等への貸出は行っていないとのことであった。

14. 京都市・個人

調査日 平成 29 年 3 月 16 日（木）

調査員 中西武尚

■平成 29 年度特別展「威信の舞台ーよみがえる大友館」の実施にあたり、伝狩野永徳筆「帝鑑図屏風」（六曲一双）の作品調査を行なった。当屏風は一時期、九州国立博物館に預けられており、当該博物館の学芸員より情報提供いただいた。現在は所蔵者の手元に戻ってきている。

当屏風は、資料名のとおりに狩野永徳筆と伝わる「帝鑑図」の屏風絵である。絵の描きぶりや落款など永徳の筆に間違いのないものとされており、狩野探幽の認め書きもある貴重な作品である。

中江周琳宛て宗固書状の中に、元亀 2 年（1571）公卿の久我晴通が、大徳寺の禅僧惟雲宗悦・薬師の吉田牧庵・絵師の狩野永徳・金工家の後藤徳乗の名人らを連れ立って豊後へ下向していることが記されている。『大友興廃記』には書院の襖絵として狩野永徳・宗秀兄弟らが描いたとある「帝鑑の図」・「花鳥図」があり、当屏風は、大友館の荘厳に大きな役割を演じた書院座敷の様子を再現し紹介する作品としての趣意を説明し、展覧会への出品の内諾を得た。また、永徳筆と考えられる「花鳥図」1 幅についてもご教示いただき、出品も可能とのことでした。



15. 藍住町教育委員会 社会教育課

調査日 平成 29 年 3 月 17 日（金）

調査員 中西武尚

■平成 29 年度特別展「威信の舞台ーよみがえる大友館」の実施にあたり、国指定史跡「勝瑞城館跡」の出土品の資料調査を行なった。勝瑞城館跡は、戦国大名三好氏の大規模な館跡で、豊後府内の大友氏館跡との比較・検討を行う上で欠くことのできない遺跡である。主要な遺物関係は、全て展示室で展示されており、それらの出土品を中心に調査を行った。一部の主要な出土品については、徳島県埋蔵文化財センターに貸出中のものもあり、途中、そちらの資料についても確認させていただくことができた。



16. 山梨県立博物館

調査日 平成 29 年 3 月 23 日 (木)

調査員 中西武尚

■平成 29 年度特別展「威信の舞台ーよみがえる大友館」の実施にあたり、復元された饗宴料理の資料調査を行なった。当該資料は『甲陽軍艦』（寛永年間）に記載された献立に関する記事と、同時期の「御成記」や「料理書」をもとに復元されたものである。制作された当初は「武田信玄のお膳」として位置づけられていたが、その後の検証の結果、天正年間～寛永年間（16 世紀後半～17 世紀初頭）までの間に、京都の武家（相当身分の高い人物）に関わる料理と訂正しているとのことであった。

室町時代に將軍家の規式を模範とした中で、儀礼のあり方も各大名に取り入れられており、復元された饗宴料理自体は、当該時期の様子を再現したものと言える。

式三献における三献と、本膳から七之膳の七膳、菓子について復元されている。料理自体は基本樹脂により作成されているが、本膳の「鶉焼鳥」や、五の膳「舟盛」などでは、鳥の剥製や伊勢海老の実物の甲羅が使用されており、特に取り扱いに注意するように指摘をうけた。その他にも細々したものが多く、十分に注意する必要がある。現状での収納は、1 膳を 1 セットとして箱に納めており、その状態で梱包し搬出するように指示をうけた。

武家の饗宴料理の復元資料として貴重な資料であり、「當家年中作法日記」にも記載されている大友館での饗宴料理のようすを具体的に知る資料として展覧会への出品を依頼し、内諾を得た。

なお、本資料を他館に貸出するのは、今回が初めてとのことであった。



17. 大阪歴史博物館

調査日 平成 29 年 3 月 24 日（金）

調査員 中西武尚

■平成 29 年度特別展「威信の舞台ーよみがえる大友館」の実施にあたり、京・大坂図屏風（六曲一双）の資料調査を行なった。左隻に京都、右隻に大坂を描いた屏風絵で、右隻には大坂城内でのようすを中心に描き、そこには御殿や庭園、舞台などが描かれている。

大友館の発掘調査では、二条城の書院庭園と同規模に近い庭園跡が確認されており、また、その館での年中行事を記した「當家年中作法日記」によれば、“大おもて”と呼ばれた主殿（御殿）で多くの家臣が参上し様々な行事が行われ、その建物の近くには常設の能舞台もあったことがわかる。こうした状況から、大友宗麟によって豊後府内に築かれた大友館は、豊臣期の大坂城や二条城などの本丸御殿に近い構造や様相を持っていたものと考えられる。本屏風の右隻からは、そうしたようすをうかがい知ることができる。

また、上記「作法日記」によると、府内のまちでは京都と同じように毎年祇園会が催されていたことがわかり、左隻からはそのようすがうかがい知れる。あわせて職人・町人たちの姿や、まちの繁栄についても紹介する上で欠くことのできない資料である。

以上のような趣意を説明し、展覧会への出品の内諾を得た。なお、当該館では各資料の種類により年間の展示期間（1 年における総光量）が定められており、展示期間中に右隻・左隻を展示替えすることでご了承いただいた。

今回出品交渉を行った山梨県立博物館と大阪歴史博物館は、火曜日が休館日となっている。どちらも観光地ということもあり、月曜日にも休みをとって土日月と連泊して滞在する方も多いらしく、そうしたことに対応するため開館当初から火曜日を休館日に行っているとのことであった。



市内・県内の考古・歴史・民俗資料調査

資料館によせられる市民等からの情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的にした以下の調査を行なった。

- ・ 県内唯一とされる笠連判状を含む立小野区有文書
- ・ 大在神社に奉納されていた銅戈と天盃
- ・ 木佐上地区で保管されている「天狗久」の作品を含む人形頭と垂れ幕
- ・ 三佐の個人が所有する絵図などの歴史資料
- ・ 廃校になる荷揚小学校の歴史資料室内に保管された民具や戦争関係資料
- ・ 市民より持ち込まれた繭糸の分銅や大分県蚕糸同業組合などのバッチ
- ・ 約100年前のものと推定される隠し戸付きの嫁入り道具の簞笥
- ・ 市内の蒐集家が集めた天神人形を中心とした郷土玩具コレクション
- ・ 大分日赤の関係者が写る戦争関係のアルバム
- ・ 満州に出征していたときの戦争関係アルバム
- ・ 納屋の取り壊しに伴う民具調査。三三九度の盃を収集。
- ・ 大分中学で使用されていた教科書
- ・ 宮崎県日南の鍛冶屋で購入した漁労用具
- ・ 遺品整理に伴う資料調査。制服などの戦争関係資料を収集。
- ・ 遺品整理に伴う資料調査。戦闘機などの戦争関係写真を収集。



資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成 29 年 2 月 14 日 (火)

場 所 歴史資料館会議室

議 題 ①平成 28 年度購入予定資料の説明

②購入予定資料の熟覧

③購入予定資料の審議

2. 委員会名簿

氏 名	役 職	専 門
豊田 寛三	大分大学名誉教授 別府大学名誉教授	日本近世史
段上 達雄	別府大学文学部教授	日本民俗学
菊竹 淳一	九州大学名誉教授	日本美術史
鳥井裕美子	大分大学教育福祉科学部教授	日欧交渉史
下村 智	別府大学文学部教授	日本考古学

寄 贈 資 料

(1) 繭糸の分銅 2点／大分県蚕糸同業組合などの
バッチ 24点 寺司和子 氏

(2) 嫁入り道具の簞笥 1点 野尻久美子 氏

(3) 天神人形を中心とした郷土玩具コレクション
377点 和田富成 氏

(4) 三三九度の盃 1点 渡辺文人 氏

(5) 大分中学で使用されていた教科書 19点
古島ミツ子 氏

(6) 漁労用具 7点 池永 俊一 氏

(7) 絵葉書 ファイル7冊／旅行切符等 1冊／海
軍兵学校制服一式 1点／大日本婦人会の襷 1点
／写真 5枚／別府・耶馬溪などの記念スタンプ
1冊／マレー戦記上映チラシ 1点／開戦記念品 1
点／大分市銃後奉公会の封筒 1点／愛国課金課
2点／金属供出 1点／体力手帳 1点／体育簿 1
点／第九回極東選手権絵葉書 1セット／昭和天皇
崩御の新聞 2点 吉田志津子 氏

(8) 重箱 1点 小川優子 氏

(9) 貝合 1点 瓜生幹子 氏

(10) 戦時中の中国の風景と兵士のアルバム 1冊／
昭和天皇に関する書籍 2冊 石川公久 氏

(11) 襷(武運長久など) 2点／千人針 2点／日の
丸旗 2点／奉公袋 1点／勲章・メダル 4点／支
那事变行賞一時賜金の封筒(書類入り)1冊

甲斐扶美子 氏

(12) 絵葉書 6冊／旅行切符等 1冊／海軍兵学校の
の制服(普段着) 1着／大日本婦人会襷 1本／写
真(高雄) 5枚／別府・耶馬溪などの記念スタンプ
1冊／マレー戦記上映チラシ 1枚／開戦記念品 1
点／大分市銃後奉公会の封筒 1点／愛国献金課
2点／金属供出 1点／体力手帳 1点／体育簿 1
点／第九回極東選手権 絵葉書 1式／昭和天皇崩
御の新聞 数枚 吉田志津子 氏

(13) 戦争関係資料(写真) 4点 菊川恵美子 氏

(14) 陶器製酒樽 1点／木製角樽 1点／日の丸国
旗 1点 秦洋一 氏

(15) 戦争関係資料(アルバム) 秦卓也 氏



天神人形を中心とした郷土玩具コレクション



戦争関係資料



貝合

購入資料

(1) 相良晴広書状 1 巻

縦 22.4×横 42.7cm

相良家 17 代当主晴広（1513－1555）が島津家（島津貴久カ）に宛てた書状。京都より博士安倍大蔵少輔が下向し島津領国方面を徘徊していることや、大友義鑑に起きた「不慮之義」、すなわち義鑑が非業の死を遂げた“大友二階崩れの変”の事件について伝えており、後者の記事から本文書は、天文 19 年（1550）3 月 8 日付で出されたものとみられる。

相良家の史書『八代日記』の天文 19 年 2 月 10 日の条によれば、この二階崩れの変の出来事を「豊州御取乱、義鑑御手負候而同十三日ニ御逝去」と書き留められており、本書状では、この義鑑の横死により「肥後面々事種々」として、肥後国の領主たちにも様々な動きがあることが記されている。併せてこの動向に対する島津家の意向を仰いでおり、大友家に起きた二階崩れの事件が、豊後国のみならず、隣国の肥後や薩摩にも大きな影響を与えていたことが分かる貴重な内容が記されている。

なお、書状の後には包紙が付せられており、また本文書は『島津家文書』や『薩藩旧記雑録』にも所収されていない新出史料でもある。

(2) 古代飾 1 巻

縦 22.0×横 848.0cm

座敷・書院・違棚などの室内の飾りと、それに用いる茶器・香炉・掛軸などの諸道具、全 55 図を収めたもの。

巻末の奥書に「永正十五年（1518）二月時正日真相（花押影）」の署判があることから、本書は足利義政の同朋衆として仕え、唐物奉行も務めた相阿弥（生年未詳－1525 年、名は真相）に関わる内容とみられる。

相阿弥は、将軍家における室礼の規式をまとめた『君台観左右帳記』や同じく将軍家の座敷飾りの方式を書き上げた『御飾書（記）』を著した人物とされており、矢島環著『君台観左右帳記の総合研究』によれば、それらの諸本に記載されている御飾りの図と同様のものが本書では 5 図（図 1・図 2・図 4・図 8・図 12）確認できる。

大友義統が文禄 4 年（1599）に記した「當家年中作法日記」によると、大友館の建物の内に常設の床（床の間）が設けられていたことが窺え、室町将軍家の秩序下にあった大友家においても、本

書に記載された図のような室礼が行われていたとみられる。

上記の意味で、本「古代飾」は、大友館での室礼の有様が分かる貴重な資料といえる。

なお、真相（相阿弥）の奥書の後に「右一卷遂一覽候処、古代飾、後之書入共宜可用者也／天明六甲午年（1786）孤峰不白（花押）／所持恭明（花押）」として、江戸千家を開いた川上不白（1719－1807）の極め書きがあり、さらに巻末には「驚大」なる人物による「右ヲ泉屋、性（姓）ハ上村清閑請持而、文政時代親類利倉屋、性（姓）ハ萩原庄左衛門隠シテ法橋大驚（此法橋ハ嘉永の年ニ候）ト改メ、是ヲ請、常用イ大切致候」の添え書きもあり、これらの記述から、本書が天明 6 年を遡る作品であること、また当時これを「恭明」なる人物が所持し、そのご上村清閑→萩原庄左衛門（法橋大驚）へと伝世され大切にされてきたものであることが分かる。

(3) ミャンマー白釉盤 1 点

口径 27.3×高さ 6.0×底径 19.0cm

16～17 世紀にミャンマーのパゴー近郊で生産されたと考えられるミャンマー産の白釉盤。

高台から全面に黄色味がかかった白濁釉がかけられ、やや大きめの貫入がみられる。底部外面は露胎となっている。

胴部からややふくらみながらのびる口縁部を持ち、底部は削り出しの高台をもつ。高台の外側には、強いヘラ削りによる沈線が数条みられる。見込みには、胴部の立ちあがり部分とその少し内側に浅い沈線が 2 条みられ、底部外面にも同様の沈線が 1 条みられる。底部中央付近はややくぼんでおり、そこにクシ状の痕跡がある。また、底部外面全体に窯印と考えられるヘラガキが確認できる。

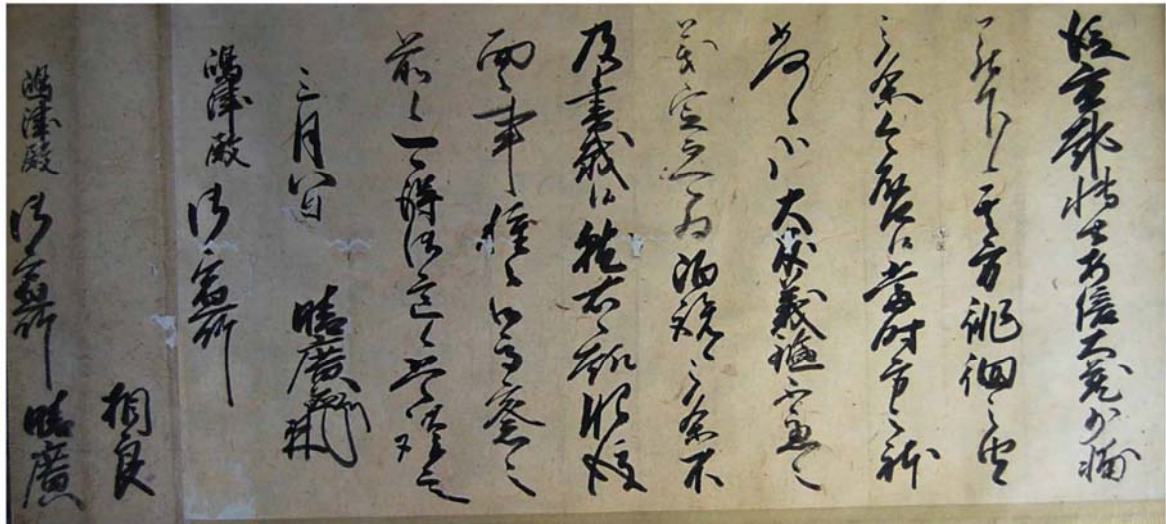
素地は赤みの強い橙色を呈し、極め細かな胎土である。全体に橙褐色の粒子が多く確認できる。装飾性のないシンプルな盤であるが、見込みの沈線や高台外面の沈線などはこの盤の特長といえる。

この同種の盤は、堺環濠都市遺跡で 3 点、平戸市のオランダ商館跡で 1 点、中世大友府内町跡で 1 点が出土しているのみの極めて希少性の高いものである。堺と平戸のものは、17 世紀前半に比定される遺構から出土し、中世府内町のものは、道路跡上面の焼土層から出土しており、16 世紀末に比定されている。

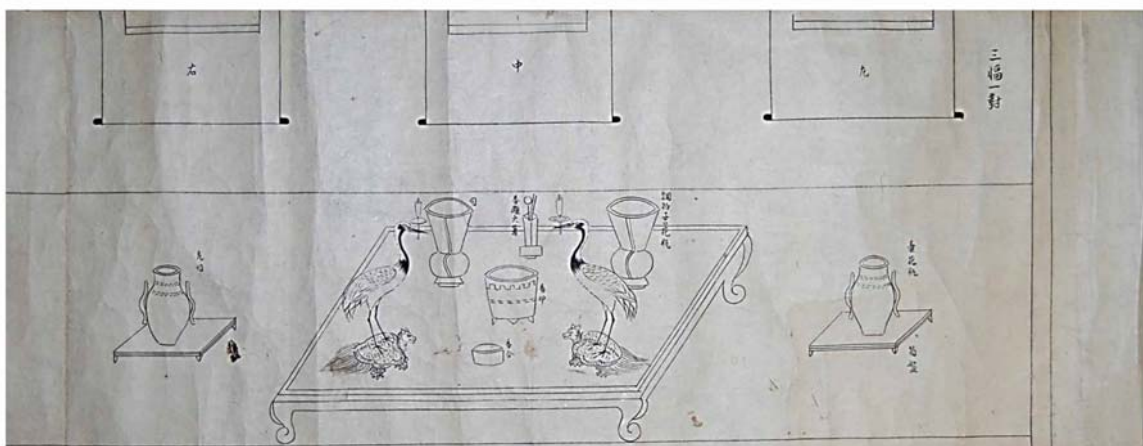
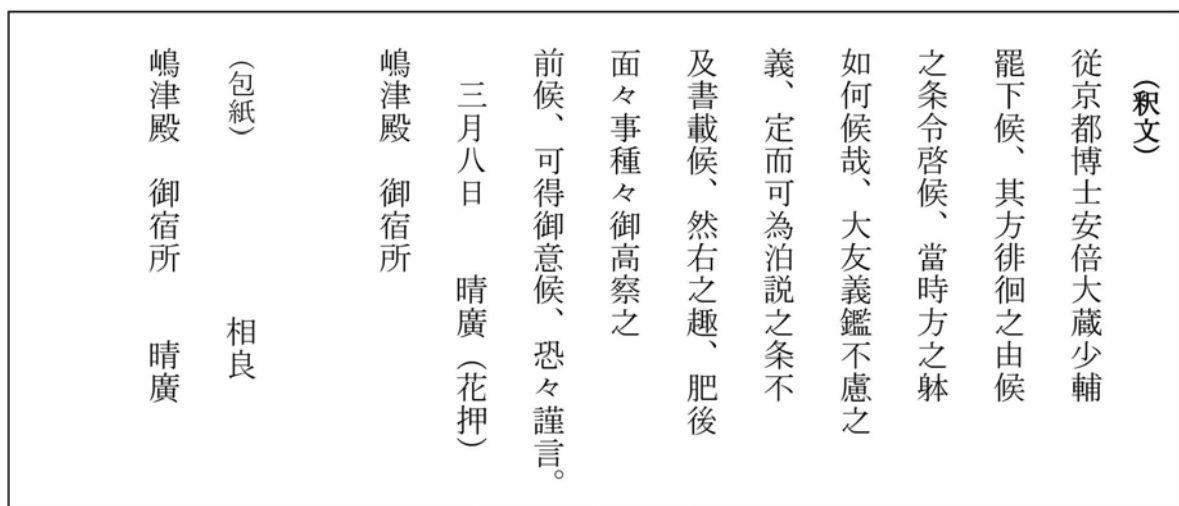
タイやベトナムなど東南アジア産の陶磁器は、

茶の湯に関わるものとしての出土品や伝世品が多く知られている。ミャンマー産の資料はごくわずかではあるが、同様のものとして考えられ、南蛮貿易を反映した陶磁器群の特長を示しているといえる。

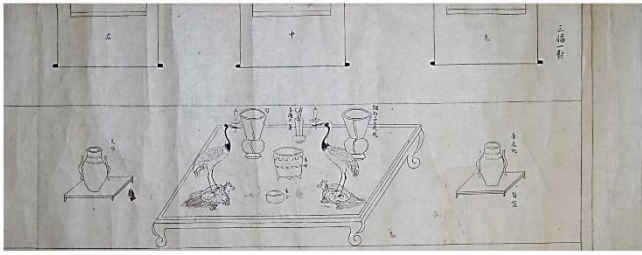
本資料は、ミャンマーからの採集品ではあるが、出土した破片の全体を知る資料として貴重であり、豊後府内の南蛮文化を考える上でも欠くことのできない資料である。



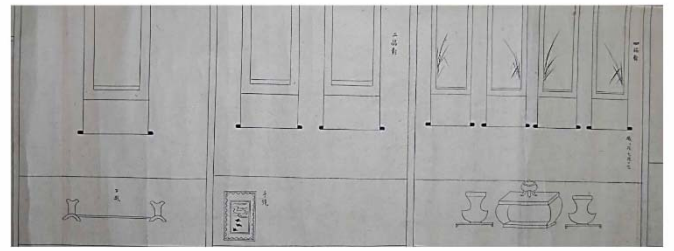
1 相良晴広書状



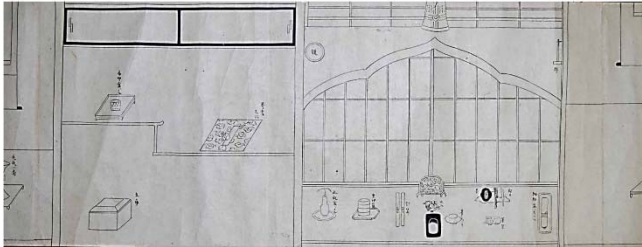
2 古代飾（図1）



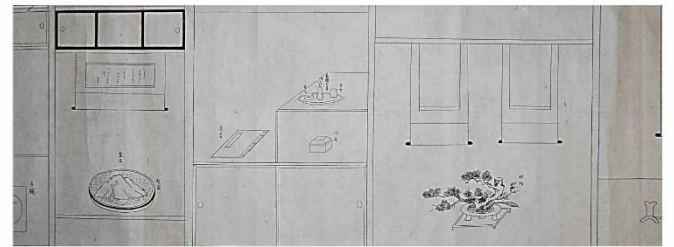
2. 古代飾 (圖1)



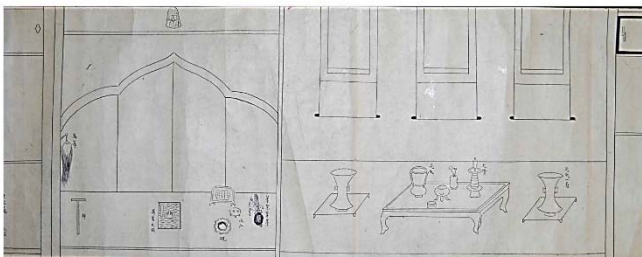
2. 古代飾 (圖12・圖13・圖14)



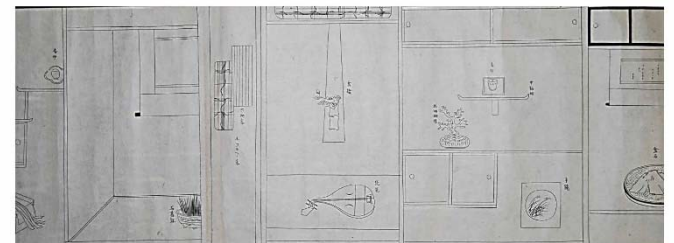
2. 古代飾 (圖2・圖3)



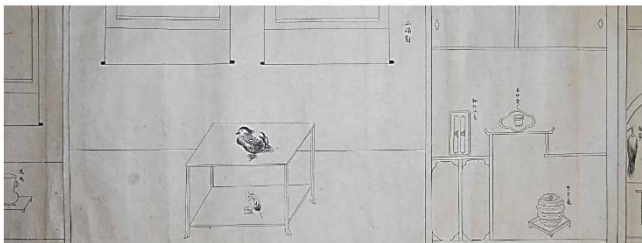
2. 古代飾 (圖15・圖16・圖17)



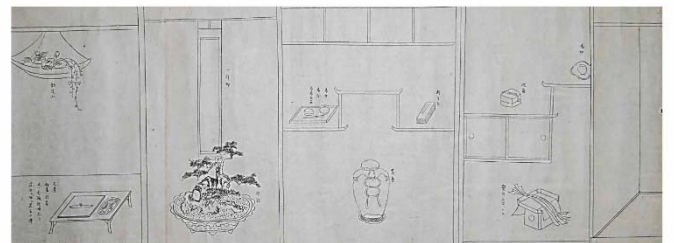
2. 古代飾 (圖4・圖5)



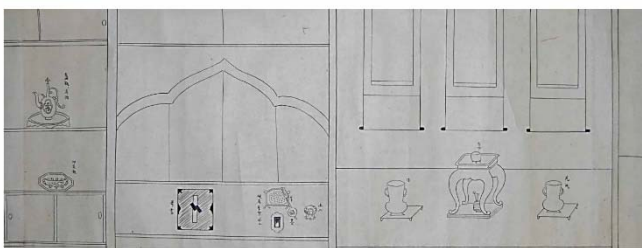
2. 古代飾 (圖18・圖19・圖20・圖21)



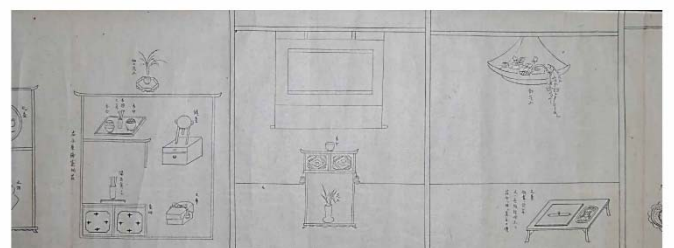
2. 古代飾 (圖6・圖7)



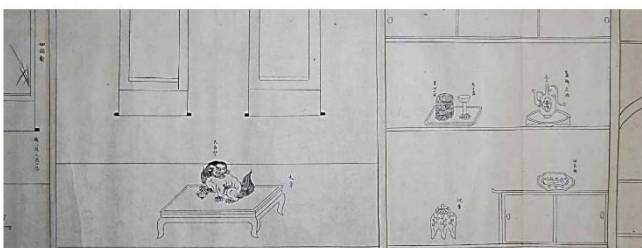
2. 古代飾 (圖22・圖23・圖24)



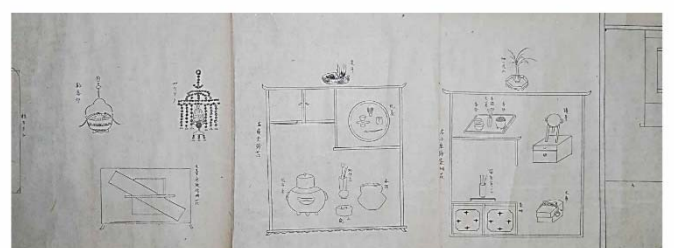
2. 古代飾 (圖8・圖9)



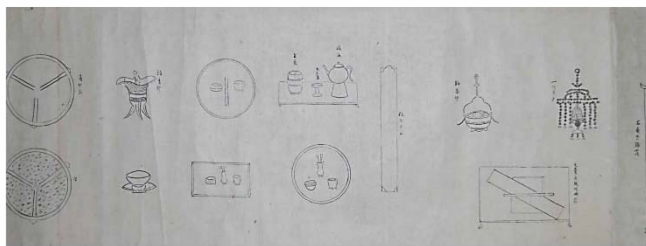
2. 古代飾 (圖25・圖26・圖27)



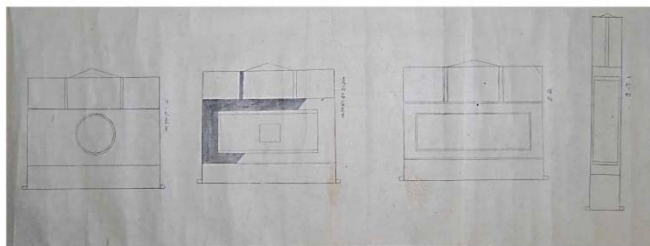
2. 古代飾 (圖10・圖11)



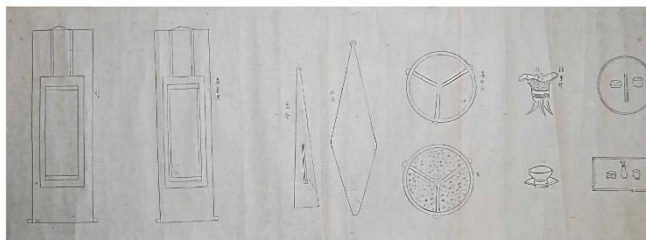
2. 古代飾 (圖28・圖29・圖30・圖31)



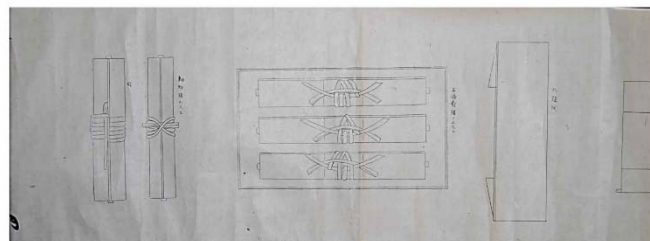
2. 古代飾 (図32・図33・図34・図35・図36・図37・図38)



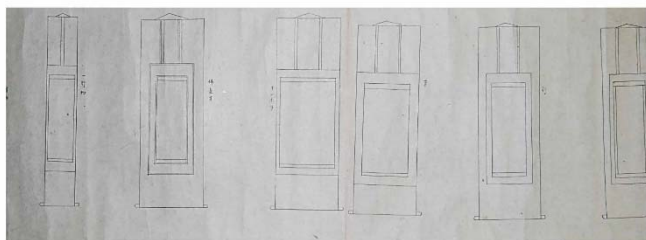
2. 古代飾 (図50・図51・図52)



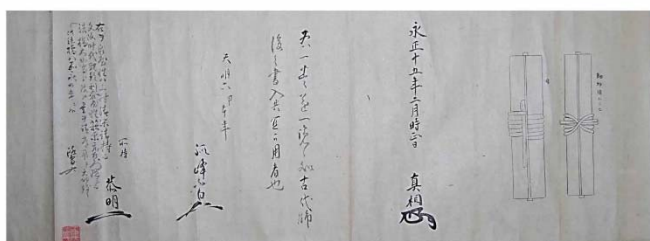
2. 古代飾 (図39・図40・図41・図42・図43・図44)



2. 古代飾 (図53・図54・図55)



2. 古代飾 (図45・図46・図47・図48・図49)



2. 古代飾 (奥書等)



3 ミャンマー白釉盤



教 育 普 及 活 動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。

定員：70名 / 受講料：各コース300円 / 時間：14時～15時30分

(1) 考古のコース 期間 4月～6月 各指定の土曜日 受講申込者数(60人)受講者総数(213人)

実施日	内容	講師	受講者
4月30日	陶磁器を読み解く	中西武尚（当館職員）	50人
5月14日	大分市の町400年の歴史をふりかえる -府内城下町を中心に-	池邊千太郎（当館職員 ・埋蔵文化財保存活用センター）	35人
28日	岩壁に刻まれたみほとけ -大分元町石仏-	河野史郎（当館職員）	39人
6月11日	大分市における史跡整備の取り組みと 歴史遺産の活用	玉永光洋（大分市教育委員会文化財課）	40人
25日	国史跡ガランドヤ古墳の保存整備	渡邊隆行（日田市教育庁文化財保護課）	49人

(2) 歴史のコース 期間 7月～9月 各指定の土曜日 受講申込者数(66人)受講者総数(243人)

実施日	内容	講師	受講者
7月9日	戦国期の太田家臣団	武富雅宣（当館館長）	59人
16日	風俗から見る身分統制 -足輕倍臣以下木履法度を中心に-	橋本美穂（当館職員）	44人
8月6日	仏教の森へ-おおいたの仏教と聖-	櫻井成昭（大分県立先哲史料館）	51人
9月10日	民芸運動と小鹿田焼き	福岡加奈（当館職員）	41人
24日	明らかになってきた慶長豊後地震のすがた	平井義人（日出町歴史資料館 館長）	48人

(3) 民俗・文化史のコース 期間 11月～12月 各指定の土曜日 受講申込者数(66人)受講者総数(182人)

実施日	内容	講師	受講者
11月5日	豊前羅漢寺の歴史とその信仰	三谷敏平（中津市教育委員会）	52人
12日	日本の絵馬	段上達雄（別府大学教授）	36人
12月3日	いのりの文化財	植木和美（大分市教育委員会文化財課）	46人
17日	先祖のまつり	内野嗣昭（当館職員）	48人

(4) 古文書のコース 期間 1月～3月 各指定の土曜日 受講申込者数(70人)受講者総数(271人)

実施日	内容	講師	受講者
1月23日	立小野区有文書 文化4年8月「覚」	武富雅宣（当館館長）	61人
2月13日	立小野区有文書 貞享2年2月 「下光永村立小野百姓申渡趣」	橋本美穂（当館職員）	55人
27日	立小野区有文書 「前書由合付百姓中口上事」	橋本美穂（当館職員）	54人
3月12日	立小野区有文書 文化4年12月「覚」	武富雅宣（当館館長）	48人
26日	立小野区有文書 文化3年 「頭書ヲ以内々御達申上候事」	橋本美穂（当館職員）	53人

ふるさとの歴史再発見受講者総数 909人

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動等の利用があった。

☆移動講座（出張歴史教室） 歴史体験学習をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館へ出かけて体験学習を実施した。

	利用団体数				利用者数				合計
					資料館		出張歴史教室		
	学校	団体	出張	合計	児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	2	6	2	10	138	175	147	15	475
5月	3	6	5	14	705	487	340	48	1,580
6月	3	4	6	13	59	154	154	112	479
7月	5	15	11	31	534	348	634	174	1,690
8月	2	18	9	29	365	259	334	133	1,091
9月	13	3	7	23	545	139	196	14	894
10月	19	9	4	32	1,867	247	308	95	2,517
11月	18	38	3	59	1,720	665	224	196	2,805
12月	3	5	3	11	197	117	58	69	441
1月	10	3	0	13	801	150	0	0	951
2月	10	8	2	20	534	237	1	98	870
3月	3	8	1	12	1,128	248	290	15	1,681
計	91	123	53	267	8,593	3,226	2,686	969	15,474

ふれあい歴史体験講座

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～／午後2時～

回	実施日		内容	参加者数		
				子ども	大人	計
1	4/23	午前・午後	勾玉作り	54	50	104
2	5/21	午前・午後	粘土はにわ作り	24	27	51
3	6/4	午前・午後	土笛作り	37	47	84
4	6/18	午前・午後	紙かご編み	9	62	71
5	7/2	午前・午後	七夕飾り作り	24	20	44
6	7/3	午前・午後	紙かご編み	9	50	59
7	7/23	午前・午後	織物作り	41	41	82
8	8/20	午前・午後	粘土はにわ作り	70	59	129
9	8/27	午前・午後	土面作り	30	25	55
10	9/3	午前・午後	土の鈴作り	21	21	42
11	9/17	午前・午後	籐芯かご編み	6	33	39
12	10/22	午前・午後	土偶作り	18	27	45
13	11/26	午前・午後	粘土はにわ作り	8	13	21
14	12/10	午前・午後	和風作り	45	36	81
15	1/21	午前・午後	管玉・丸玉作り	38	36	74
16	2/4	午前・午後	折り紙雛作り	22	70	92
17	2/18	午前・午後	火起こし	48	33	81
18	3/4	午前・午後	勾玉作り	71	55	126
合 計				575	705	1280

体験座	材料費
勾玉作り	250 円
埴輪作り	230 円
土偶作り	180 円
土笛作り	60 円
土面作り	140 円
土鈴作り	60 円
管玉・丸玉作り	270 円
かご編み	150 円
和風作り	220 円
折り紙雛作り	300 円
織物	200 円
火起こし 七夕飾り	無料



紙かご編み

昔のおもちゃで遊ぼう

子どもの日に昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施した。人気の大正2年に作られた消防ポンプ「竜吐水」による放水体験も行った。

実施日：5月5日（火）9時～16時

料金：無料

内容：昔のおもちゃ（折り紙飛行機・割箸飛行機・竹とんぼ・ブーメラン・竹馬・竹カップカッポ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・水鉄砲・竹アーチェリー・わなげ・ゴム鉄砲・切り絵・糸電話・ぬり絵・数珠玉・お手玉・おはじき）、竜吐水
参加者：484名（子ども281名 大人203名）



粘土はにわ作り

勾玉作り教室

7月30日（土）と11月19日（土）に、事前申し込み不要で、随時勾玉作りを楽しんでもらえる講座を、2回実施。

受付時間：9時～11時、13時～15時

材料費：1セット250円

回	実施日		内容	参加者数		
				子ども	大人	計
1	7/30 (土)	午前 午後	勾玉教室	231	130	361
2	11/19 (土)	午前 午後	勾玉教室	84	64	148
合計				315	194	509



弓矢遊びを楽しむ



染めの作業のようす



竜吐水の体験



勾玉名人の表彰

夏休みジュニア歴史探検

小4～中学生を対象に、資料館内や史跡公園をめぐる歴史探検、歴史資料の保存などの学芸員の仕事を学ぶ体験、鏡作りなどの体験を実施。

実施日：8月5日（金）9:30～15:30

回	実施日	参加者数		
		子ども	参観	計
1	8/5（金）	23	26	49



学芸員の仕事を学ぶ



鏡作り体験

職場体験学習の受け入れ

小6～中学生・高校生を対象に、資料館職員の仕事を体験。

	学校数	受け入れ日数	延べ人数
高 校	1	3	32
中学校	5	14	66
小学校	1	1	9
合計	7	15	107



展示ケースの清掃と点検

歴史教育研修

小・中学校教諭を対象として、資料館の体験活動や郷土の歴史について研修を開催。

時間：9時～12時

実施日	研修名	参加者
6/23	郷土の歴史と文化財研修 1	9
7/29	郷土の歴史と文化財研修 2	15
8/4	初任者研修	71
8/9	郷土の歴史と文化財研修 3	10
12/25・28	郷土の歴史と文化財研修 4	10
	合計	115



展示解説の様子

博物館実習

実習生を1名受け入れて下記日程・内容で実施した。

実施日	内 容	主な担当
7/28(木)	資料館の活動/施設ガイダンス 等	武富・中西
7/29(金)	展示照明/体験活動講習 等	中西・志賀
7/30(土)	勾玉作り教室	志賀・中西
7/31(日)	資料の取り扱い(民俗) 等	内野
8/1(月)	資料の保存・管理/写真撮影 等	内野・松岡
8/3(水)	資料の取り扱い(考古) 等	中西
8/4(木)	館の管理・運営/企画展の実施 等	久多羅岐
8/5(金)	ジュニア歴史探検	志賀・中西
8/6(土)	レポート作成 等	松岡

展示解説講座

テーマ展及び特別展の展示品や内容をスライド等で解説する講座を実施。

時間：14時～ 料金：無料

実施日	内 容	参加者
5/15(日)	テーマ展示Ⅰ「ハレの日の酒」	19
8/7(日)	テーマ展示Ⅱ 「いにしえの美-館蔵古美術-」	25
10/30(日)	特別展「ほとけの王国-大分の仏像-」	141
2/12(日)	テーマ展示Ⅲ「THE 府内古図」	65
	受講者計	250

ビデオライブラリー

館蔵ビデオの上映サービスを実施

月	視聴者		
	子ども	大人	計
4	0	50	50
5	283	294	577
6	0	89	89
7	255	253	508
8	24	126	150
9	0	89	89
10	0	224	224
11	92	463	555
12	189	144	333
1	801	202	1,003
2	599	682	1,281
3	227	540	767
合計	2,470	3,156	5,626

刊行物

名称	規格	頁数	部数
歴史資料館ニュース 112 号	A4	4	6,500
歴史資料館ニュース 113 号	A4	4	6,500
歴史資料館ニュース 114 号	A4	4	7,000
第 35 回特別展図録	A4	40	1,000

※年報はホームページに掲載予定

大分市歴史資料館
ニュース
112
平成28年度テーマ展示
ハレの日の酒

会期: 4月30日(土)～6月26日(日)

本誌は、大分市歴史資料館の活動や展示情報、市民のみなさんからの声などを伝えるための広報誌です。本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

大分市歴史資料館
ニュース
113
平成28年度テーマ展示
いにしへの美

会期: 7月23日(土)～9月25日(日)

本誌は、大分市歴史資料館の活動や展示情報、市民のみなさんからの声などを伝えるための広報誌です。本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

大分市歴史資料館
ニュース
114
平成28年度テーマ展示
いにしへの美

会期: 7月23日(土)～9月25日(日)

本誌は、大分市歴史資料館の活動や展示情報、市民のみなさんからの声などを伝えるための広報誌です。本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

大分市歴史資料館
ニュース
114
平成28年度テーマ展示
THE 府内古図

会期: 7月28日(土)～4月3日(日)

本誌は、大分市歴史資料館の活動や展示情報、市民のみなさんからの声などを伝えるための広報誌です。本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

大分市歴史資料館
ニュース
114
平成28年度テーマ展示
ハレの日の酒

会期: 4月30日(土)～6月26日(日)

本誌は、大分市歴史資料館の活動や展示情報、市民のみなさんからの声などを伝えるための広報誌です。本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

大分市歴史資料館
ニュース
114
平成28年度テーマ展示
THE 府内古図

会期: 7月28日(土)～4月3日(日)

本誌は、大分市歴史資料館の活動や展示情報、市民のみなさんからの声などを伝えるための広報誌です。本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

本誌の発行は、市民のみなさんへの情報提供と、市民のみなさんからの声の収集を目的としています。

資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件 名	件数
熟覧・写真撮影	147 件
テレビ撮影・雑誌等の取材	30 件
印刷物掲載・写真貸与	56 件

(2) 資料の貸出

団 体 名	展示会名	資料/点数
宮崎県立総合博物館	特別展「賀来飛霞のみた自然と歴史」	賀来飛霞写真図など 25 点
村上水軍博物館	特別展「村上海賊 VS 戦国大名ー村上海賊の外交と戦い」	今井元長船戦図 1 点
大分県立美術館	「おおいたの温故知新 2016ー大分の先人たちの知性と感性に学ぶ Vol. 2」	瀧廉太郎眼鏡・肘あて 1 式
大村市立史料館	「Sumitadaー戦国・南蛮・キリシタン」	『天正十年イエズス会日本年報』など 4 点
大分県教育庁埋蔵文化財センター	常設展示	豊後国分寺跡出土軒瓦 2 点

広報事業

平成 28 年度は、以下の施設等に総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示等の P R 活動を実施。

学 校	小・中学校（市内）	89 校
	小・中学校（市外）	58 校
	高等学校、大学	43 校
行 政	市役所関係	86 カ所
	県庁関係	4 カ所
	県内自治体	18 カ所
	県内公民館・図書館等	29 カ所
博 物 館	県外博物館	194 カ所
	県内博物館	24 カ所
	県外埋文・大学研究室等	93 カ所
そ の 他	賀来地区自治会（毎月）	21 地区
	県内マスコミ	18 社
	交通機関・一般施設等	48 カ所

市民学芸員の活動

市民や地域にとってより身近な資料館をめざし、24 年度より「市民学芸員」を募集した。28 年度は、20 人が登録し、古文書の解読と整理を行う「資料グループ」、来館者への展示解説を行う「解説グループ」、体験活動の指導を行う「体験グループ」の 3 つに分け、のべ 111 回にわたって活動した。



市民学芸員総会風景



資料グループの活動風景



解説グループの活動風景



体験グループの活動風景

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位：人

年／月	開館 日数	観覧者数									講座室利用者数								総合計 来館者
		一般				団体				合 計	一般		資料館講座			映画会		合 計	
		大人	高校 生	中学 生	小学 生	大人	高校 生	中学 生	小学 生		大人	小中高生	歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学 生		
28/4	26	354	4	5	76	225	75	0	63	802	127	0	50	104	371	50	0	702	1,504
5	26	466	0	3	87	540	1	16	476	1,589	151	0	93	535	1,045	294	283	2,401	3,990
6	26	384	4	0	28	228	0	0	59	703	158	0	89	155	324	89	0	815	1,518
7	26	388	0	1	53	451	30	12	492	1,427	145	0	103	546	1,144	253	255	2,446	3,873
8	25	536	7	14	136	334	1	13	352	1,393	136	2	76	233	858	126	24	1,455	2,848
9	24	558	1	3	52	217	0	36	509	1,376	141	0	89	81	813	89	0	1,213	2,589
10	23	736	7	3	84	373	0	0	1,867	3,070	119	0	141	45	2,472	224	0	3,001	6,071
11	23	1,822	3	7	106	961	0	0	1,720	4,619	128	0	334	169	2,636	463	92	3,822	8,441
12	22	424	0	0	40	203	0	0	197	864	176	0	94	81	360	144	189	1,044	1,908
29/1	23	552	0	1	56	211	0	0	801	1,621	133	0	61	74	877	202	801	2,148	3,769
2	24	756	1	0	64	411	0	0	534	1,766	209	0	174	173	697	682	599	2,534	4,300
3	27	811	1	11	87	332	0	0	1,128	2,370	219	0	101	126	1,555	540	227	2,768	5,138
合計	295	7,787	28	48	869	4,486	107	77	8,198	21,600	1,842	2	1,405	2,322	13,152	3,156	2,470	24,349	45,949

管 理 及 び 運 営

1. 歴史資料館協議会

第1回 開催日 平成28年7月26日(火)

会場 大分市歴史資料館 会議室

- (1) 委嘱状・辞令の交付
- (2) 委員・職員紹介
- (3) 議事
 - ①平成27年度事業報告
 - ②平成28年度事業計画及び経過報告
 - ③大分市歴史資料館協議会の傍聴に関する要領について

第2回 開催日 平成29年3月6日(月)

会場 大分市歴史資料館 会議室

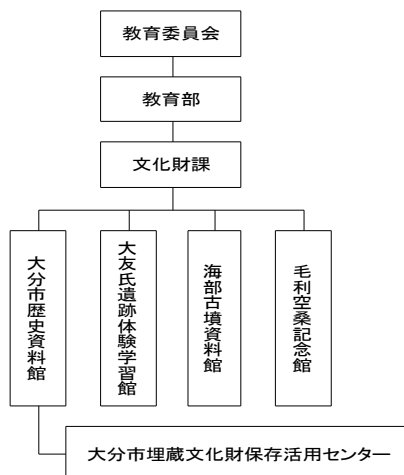
- (1) 議事
 - ①平成28年度事業報告
 - ②平成29年度事業計画(案)
 - ③その他

協議会委員名

氏 名	役 職	備 考
橋 昌信	別府大学名誉教授	学識経験者
豊田 寛三	大分大学名誉教授 別府大学名誉教授	〃
橋本 靖彦	大分県立歴史博物館長	行政関係者
渋谷 忠章	元大分県立歴史博物館長	学識経験者
渡辺 靖和	大分市PTA連合会代表	社会教育関係者
胤末理恵子	FM大分取締役編成制作部長	〃
松尾 敦雄	大分市小学校 校長会代表	学校教育関係者
山村 良一	大分市中学校 校長会代表	〃

2. 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

(1) 組織機構



(2) 分掌事務

- ①資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- ②歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- ③常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- ④歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- ⑤歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- ⑥学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- ⑦歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(3) 職員

(平成29年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
館 長	武富 雅宣	嘱託(顧問)	讃岐 和夫
グループリーダー 指導主事	志賀 良史	嘱 託	石丸喜久子
参事補	河野 史郎	嘱 託	合澤 昭子
主 査	高野 令子	嘱 託	神志那 潔
専門員	中西 武尚	嘱 託	福岡 加容
主査(再)	久多羅岐明	嘱 託	内野 嗣昭
主 事	松岡 健太	嘱 託	橋本 美穂
		臨時職員	甲斐 しのぶ

(4) 歳入歳出

(平成28実績)

単位: 千円

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
観覧料・講座室使用料	804	管理運営費	30,726
歴史講座受講料	75	企画展費	7,560
図録売払代金	350	資料購入費	1,048
雑収入	1		
雇用保険徴収金	6		
計	1,236	計	39,334

3. 施設管理業務の内容

(1) 施設管理業務の一部委託

- ①警備……………総合警備保障㈱
- ②清掃(館内及び受水槽・高架水槽)
……………(有)日本ビルサービス
(館外)……………(有)協和環境
- ③電気工作物保安全管理
……………日本電気保安㈱
- ④空調設備(冷暖房)保守点検整備
……………日本暖房鉄工㈱
- ⑤消防設備点検……………新日本消防設備㈱
- ⑥エレベーター保守点検
……フジテック㈱西日本支社九州支店
- ⑦自動ドア保守点検……………大分ナブコ㈱
- ⑧浄化槽維持管理……………福喜工業(有)
- ⑨地下灯油タンク等漏洩検査
……………(有)二豊サービス

- ⑩モニターカメラ設備保守点検
……………大分音響㈱
- ⑪ボイラー保守点検……………日本暖房鉄工㈱
- ⑫展示資料及び収蔵庫燻蒸
……………(有)アトム商事
- ⑬燻蒸設備保守点検……………(有)環境技研
- ⑭歴史資料館緑地帯及び
豊後国分寺跡史跡公園管理
……………日豊緑樹㈱
- ⑮衛生害虫防除作業
……………(株)大分イカリテクノス

施 設 の 概 要



1 階平面図



2 階平面図

<階別室別床面積>
1 階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
1 階	教育普及	第1講義室	63.72
		第2講義室	47.83
		映写室	8.23
		小計	119.78
	サービス	エントランスホール	215.05
		その他	131.25
		小計	346.30
	事務管理	館長室	30.37
		事務室	46.54
		会議室	38.20
		食堂	33.69
		更衣室	3.72
		その他	14.73
		小計	167.25
	学芸調査	学芸調査	80.93
		学芸室	25.22
		写場	48.37
		小計	154.52
	収蔵	燻蒸室	6.75
		整理作業室	49.00
		プラットホーム	31.50
		荷捌軒置室	52.02
		収蔵室	135.67
		小計	274.94
	機械室	機械室	197.54
		ERV地	10.06
		小計	207.60
		1階計	1270.39

2 階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
2 階	展示	第1展示室	362.25
		第2展示室	243.06
		テーマ展示室	85.50
		小計	690.75
	収蔵	収蔵庫	41.62
		特別収蔵庫	41.62
		小計	83.24
	サービス	学習室	33.63
		ホール	87.51
		ロビー地	260.30
		小計	381.44
	管理	A-C機械室	59.61
		小計	59.61
		2階計	1215.04
塔屋	管理	特殊機械室	9.33
		ポンプ置場	24.75
		階段その他	8.61
		塔屋計	42.69
屋外	管理	館所	34.30
		ポンプ室	12.50
		屋外計	36.80
総計			2614.93

利 用 案 内

開館時間 9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第1月曜日は開館し、
翌火曜日が休館（祝日は開館）
祝日の翌日
（土・日曜日の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料 大人 200 円（団体 150 円）
高校生 100 円（団体 50 円）
中学生以下は無料
*団体は 20 名以上
*特別展開催中は、別料金となる場合があります。

交通機関 JR 久大本線
◎豊後国分駅下車：徒歩 2 分

大分自動車道
◎大分 I.C・光吉 I.C よりともに
約 15 分

[illegible]

各種催し案内					
講座名と 歴史再発見	日時	内 容	料 金	備 考	
 歴史再発見 歴史再発見	14時～ 15時30分	大分に関するテーマを中心に外部講師、 協賛員による講座を行います。	各 コース 300円	各コースの開催順に1～5期 の順で15日までに1回以上は 参加して下さい。	
 歴史あひ ふれあい講座	9時30分～ 11時	古く作り、作り手、にはわたりなど各国 ごとくに内容を変えて行います。(毎月2時間)		各期毎に協賛員 と参加費の差を 大分県民の暮らし に還元する。	
 絵のおもちゃで 遊ぶ	5月5日(土) 10時～11時 (5月の日曜日は 15時～16時30分 開催予定です)	歴史資料館蔵の江戸絵巻図巻、竹矢 竹風、竹んは、フーテンなど古作りの おもちゃで、遊びを学びます。	無料	参加は自由。 事前予約の必要は ありません。	
 古玉作り教室	7月28日(土) 11時30分～ 13時～11時 30分	時間内でできれば、いくつでも古玉を作る ことができる初心者大歓迎です。 ある程度古玉の知識を学べるうえと古玉 作り名人に認定されます。 (製作時間：1時間30分程度)	参加 料無料	参加は自由。 事前予約の必要は ありません。 材料費 実費	
 歴史検定ジュニア 歴史検定	8月5日(金) 15時30分～ 16時30分	歴史や自然の探検、探検者などの歴史 体験を行います。	材料費 無料	対象：小学生・学生 応募：中学生以上 3名(参加費別途)	
 歴史検定講座及び 特別周知記念講座	5月15日(日) 11月5日(日) 10月5日(日) 11月5日(日) 2月12日(日)	テーマ展示「ハルノ日の テーマ展示」に併した「天の巻・地蔵・天の巻」 特別展「江戸のてびき大分・大分のてびき」 特別展「大分県立歴史博物館」 特別展「大分県立歴史博物館」	参加 料無料	参加は自由。 事前予約の必要は ありません。	

※各講座を受講された方は、観覧料が無料になります。※都合により予定を変更することがあります。
※各講座の詳細応募方法は、市報・大分市のホームページでお知らせします。



大分市歴史資料館年報

2017

発行日 平成 29 年 7 月 25 日

編集・発行 大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分 960 番地の 1

TEL(097)549-0880 FAX(097)549-5766
